

05

ウェルビーイング



健康経営の基本方針

株式会社ジーシーは、
口腔保健の向上を通じ地球社会に貢献するために、
なかま一人ひとりが、健康で、安心安全に、
いきいきと活躍できる、
明るく活力にあふれた会社の実現を目指します。

健康経営への思い

株式会社ジーシーは、世界中の人々にいつまでも長く、笑顔で元気に過ごしていただけるよう、経営理念「口腔保健の向上を通じ、地球社会に貢献する」のもと、なかま（従業員）一人ひとりが思いを一つにして、健康長寿社会の実現を目指しています。

近年、様々な研究により、口腔の健康が全身の健康とつながっていることが明らかになってきました。口腔の健康維持は、全身の健康維持のためにも欠かせないものとされています。

歯科医療に携わる企業として、私たちは、なかま一人ひとりが口腔を含む全身の健康を最優先に考え、行動するとともに、その重要性を広く発信することで、より多くの方々の健康に寄与できると考えています。

これらを実現するためには、なかま自身の健康が不可欠であると考えています。

なかまが心身ともに健康であることは、一人ひとりの幸福度の向上だけでなく、企業全体の生産性向上や組織の活性化、持続的な成長にもつながると確信しています。

ジーシーで働く多様な人材が、心身ともに健康で、いきいきと活躍できるよう、明るく活力に満ちた企業を目指して健康経営を推進し、グループ一丸となって健康長寿社会の実現に向けて挑戦を続けてまいります。

代表取締役社長執行役員兼COO
篠崎 裕

健康経営

健康経営の主な取り組み

健康経営の主な取り組みは以下の通りです。

●定期健康診断と二次検査受診勧奨

毎年事業所ごとに社内健診や医療機関健診を実施し、定期健康診断全員受診を徹底しています。また、重大な病気の早期発見や自身の健康状態把握のために、二次検査の受診勧奨を徹底しています。

●がん検診

20歳以上の希望者には子宮がんの検診、35歳以上の希望者には胃・大腸・乳房がんの検診を実施しています。受診率向上のため、検査費用の全額補助を行うとともに、健診時に受診の声かけを実施しています。

●人間ドック

40歳、45歳、50歳、55歳、さらに2024年度からは60歳の節目年齢を迎える社員を対象に人間ドックを実施しています。検査費用の全額補助と健診時に受診の声かけを行うことで、受診率100%となっています。

●歯科診療受診支援

「なかま」の口腔健康を支援するため、年1回、歯科診療費用の補助や就業時間内の歯科医院受診を可能としています。

また、各拠点の状況に応じて社内歯科健診機会の

提供や、デンタルカレッジと呼ばれる社内歯科研修を実施し、口腔健康への意識を高める活動を行っています。

さらに、一般の皆様にもお口の健康の大切さを実感していただき、より深い関心を持っていただくことを願い、本社オフィスに歯科情報啓発施設「歯科情報ギャラリー」を設置しています。

●メンタルヘルスセミナー

2018年より、外部の臨床心理士を講師に招き、社内でメンタルヘルスセミナーを開催しています。ストレスチェック結果や職場の状況、時勢を踏まえ、セルフケア研修およびラインケア研修のテーマを選定し、年に1回実施しています。

実施後のアンケートでは、研修満足度が毎年80%以上と高く、「学びたい事や期待と一致しており、普段の業務に活かせる」との回答が多く寄せられています。

各研修は動画コンテンツ化し、国内グループ会社や海外駐在員にも展開することで、毎年セミナーを受講できる環境づくりにも取り組んでいます。

その他、社内講師による新入社員研修や新任管理者研修も行い、メンタルヘルスリテラシーの向上を推進しています。

Check! 健康経営のホームページはこちら!

ジーシーの健康経営 | 株式会社ジーシー

<https://www.gc.dental/japan/company/gc-corporation/health-management>

労働安全の確保

労働安全の徹底

ジーシーでは社員の安全確保を企業活動の根幹と位置づけ、安全管理の徹底に継続的に取り組んでいます。労働災害の未然防止を目的に、リスクアセスメントの実施、安全衛生教育の強化、作業環境の定期点検などを通じて、職場の安全性向上を図っています。

また、現場でのヒヤリ・ハット事例の共有や、改善提案制度の活用により、社員一人ひとりが安全意識を高め、主体的に安全管理に関与できる職場の風土づくりを推進

しています。これらの取り組みは、事故の未然防止にとどまらず、社員の安心感や信頼感を醸成し、企業の持続的成長にも寄与しています。

今後も、法令遵守はもとより、業界標準や社内基準の見直しを通じて、安全管理体制のさらなる強化を図り、すべての社員が安心して働ける職場環境の実現を目指していきます。

災害対策

社員の安全確保を最優先事項とし、災害時における迅速かつ確な対応を可能とする体制づくりを進めています。地震や風水害などの自然災害に備え、対策本部訓練や避難訓練の定期的な実施、緊急連絡網の整備、災害備蓄品の配備など、実効性の高い対策を講じています。

また、BCP（事業継続計画）の観点からは、災害発生時にも業務を継続できるよう、テレワーク環境の整備や

代替拠点の確保、重要業務の優先順位づけなどを行っています。これらの取り組みは、社員の安全と健康を守るだけでなく、企業のレジリエンスを高め、社会的責任を果たすための基盤ともなっています。

今後も、社員の声を反映した災害対策の見直しや、BCPの定期的な更新を通じて、より強固な安全・継続体制の構築を目指していきます。

福利厚生の実

カフェテリアプランの実

社員の多様化する働き方に対応する本制度は、福利厚生の個別最適化を実現し、満足度やエンゲージメントの向上に寄与しています。また、制度の利用状況や社員の声を踏まえ、メニューの見直しや新サービスの導入を継続的に行うことで、より実効性の高い福利厚生制度の構

築を目指しています。

今後も、社員が安心して働き続けられる環境づくりの一環として、カフェテリアプランをはじめとする福利厚生制度の拡充を通じ、企業の持続的成長を支えていきます。

■ カフェテリアプラン利用率



● カフェテリアプラン

社員に一定のポイントを毎年付与して、そのポイント数の範囲内で、複数の福利厚生メニューから自分自身が必要なものを選択できる方式の福利厚生制度。

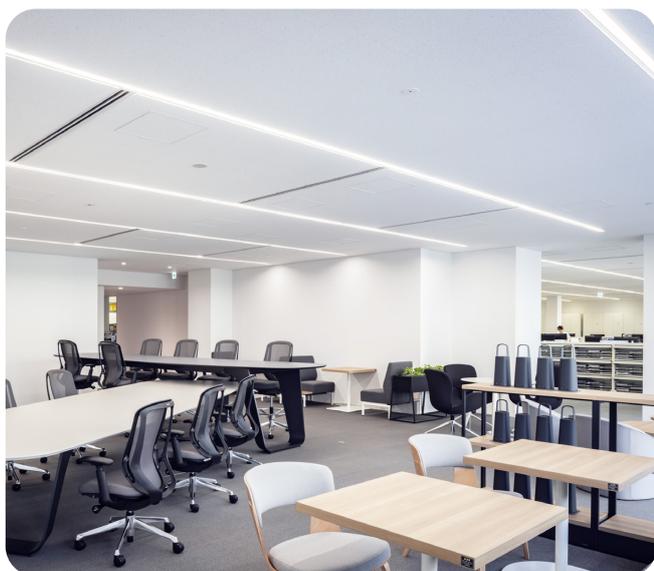
働く場所の継続的改善

社員が快適かつ安心して働ける環境の整備を福利厚生の重要な柱と位置づけ、働く場所の継続的な改善に取り組んでいます。オフィスのレイアウト見直しや設備の更新、照明・空調・音環境の最適化など、身体的・心理的な快適性を高める施策を段階的に実施しています。

また、働き方改革の一環として、在宅勤務におけるコミュニケーションツールの充実を通じ、場所にとらわれ

ない働き方を支援しています。これにより、社員の生産性向上とワークライフバランスの実現を図るとともに、エンゲージメントの向上にもつなげています。

今後も、社員の声を反映した職場環境の改善を継続し、働きやすさと働きがいの両立を目指した福利厚生施策の強化を進めていきます。



イノベーションを生み出すオフィス空間

